

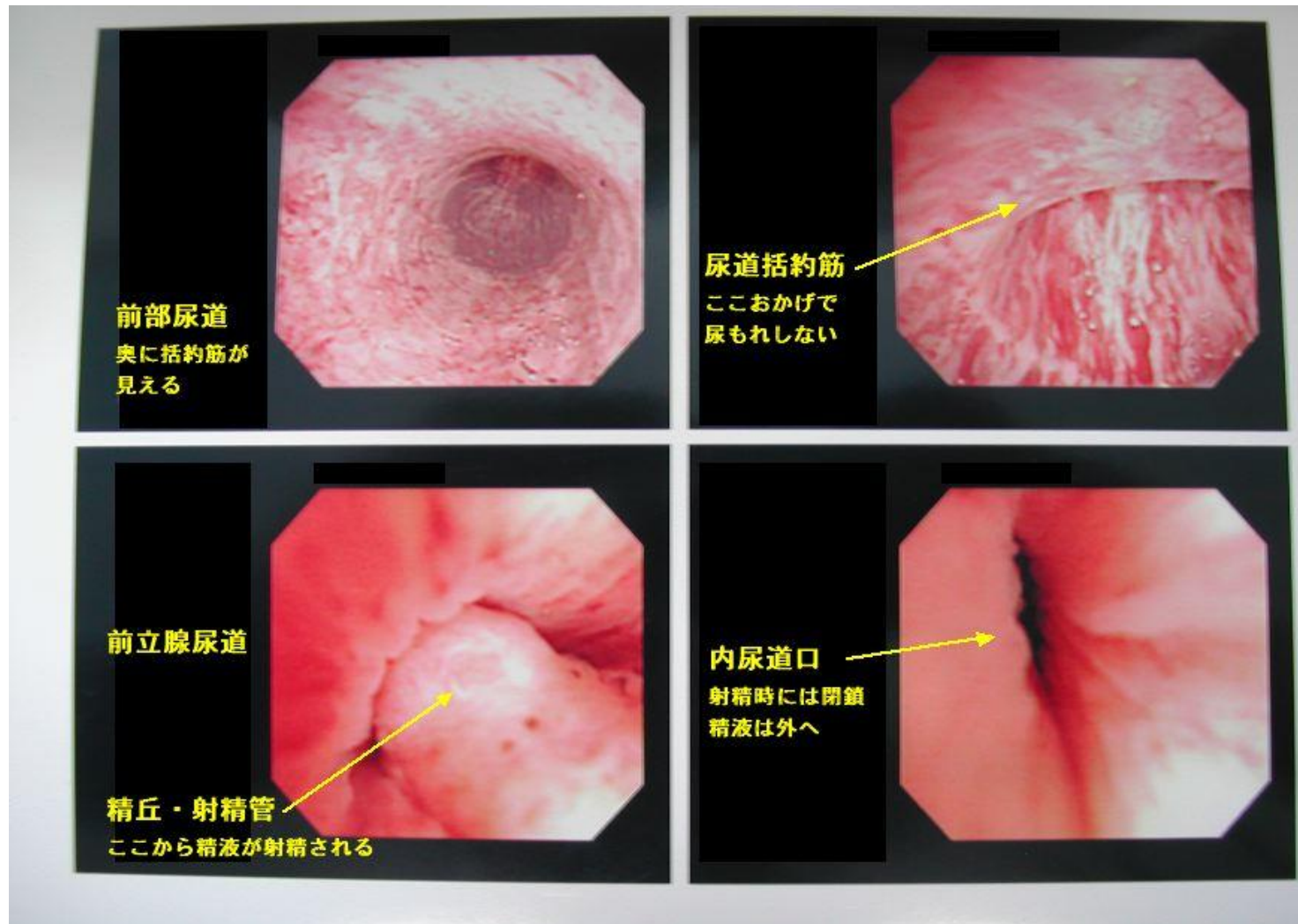
## 膀胱鏡検査について

血尿などで膀胱癌が疑われたり、尿道や前立腺などの尿路の異常が疑われる場合、膀胱の中を直接カメラでみる検査が必要となります。また、膀胱癌になって手術を受けた人は、再発を防ぐために定期的にこの検査を受けなければなりません。

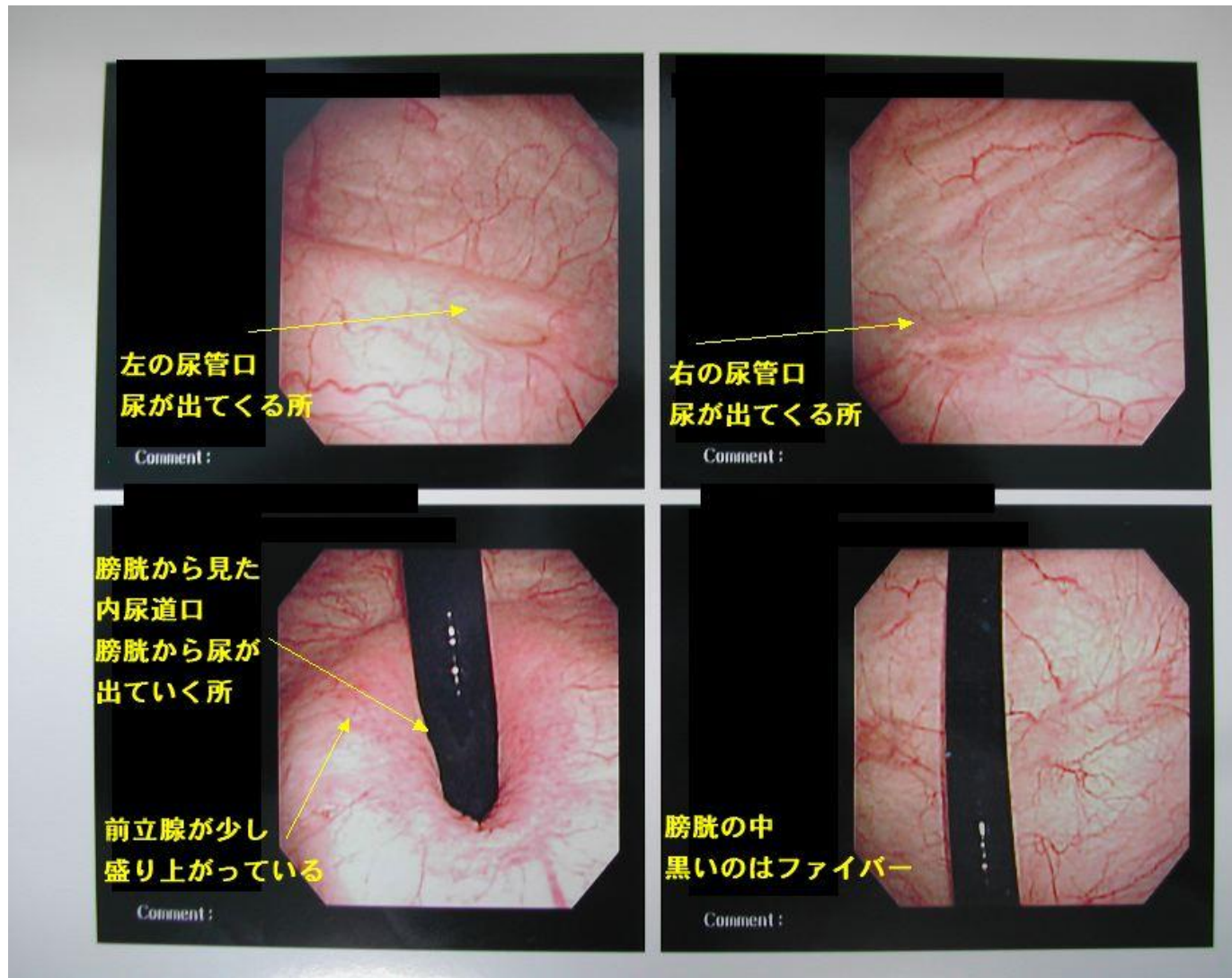


デリケートな尿道は、男性は女性に比べて長く、管を入れられるのは、どなたでもイヤだと思いますが、好生館泌尿器科では、細い軟性(やわらかい)ファイバーをいち早く導入し、外来の膀胱鏡検査に使用しています。念のため、尿道から麻酔薬を検査前に入れて、なるべく痛みがないように心がけています。また、検査後抗生剤を服用していただいて感染(膀胱炎など)の予防を行っています。

膀胱ファイバーの検査と平行して硬性の膀胱鏡検査も行っています。これは硬性鏡といって、6~7mmの太さの金属製のカメラを尿の出口から挿入する検査です。女性は、尿道が短いので(4~6cm)それほどでもないのですが、男性は、ペニスの分尿道が長く、また屈曲しているため、真直ぐの硬い膀胱鏡を入れられるのは、かなりの苦痛があり尿道からの出血もまれではありません。そのため病院によってはお尻からの麻酔、尿道の麻酔や鎮痛剤座薬をつかったりします。膀胱の中に血のかたまりなどがたまっていたり、出血が強くて膀胱内の洗浄が必要な場合はこの硬性膀胱鏡を用います。

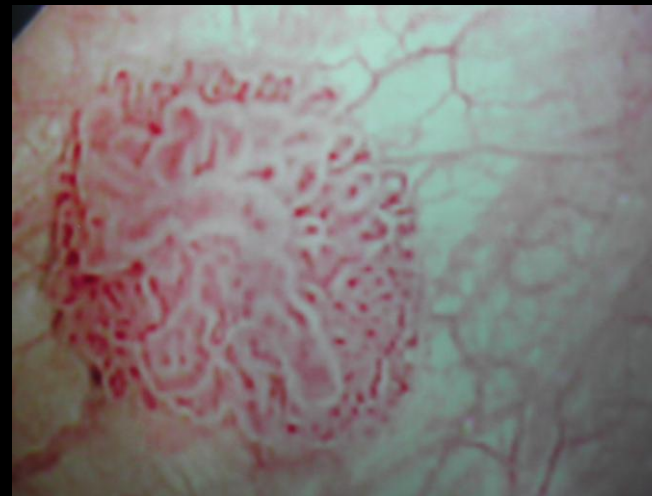
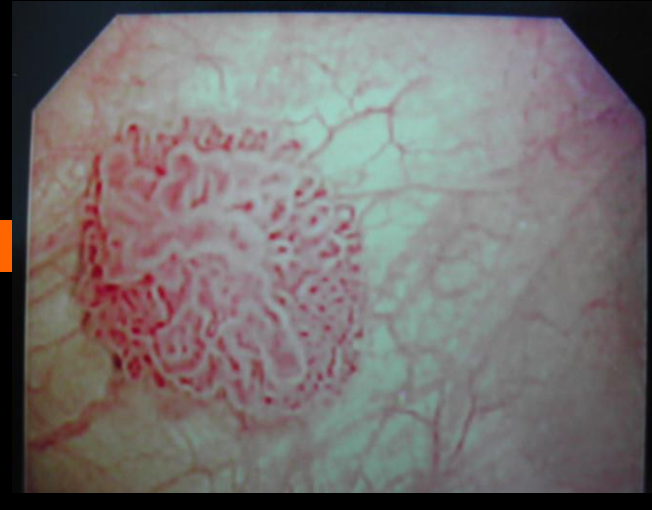
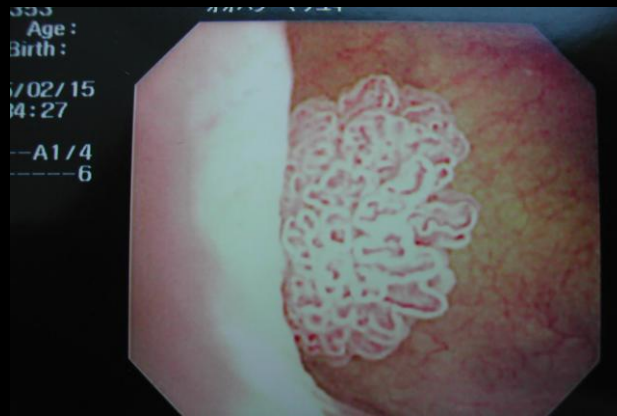


膀胱ファイバーによる正常の尿道の写真です。



膀胱ファイバーによる正常の膀胱の中の写真です。

## 膀胱鏡所見



膀胱ファイバーによる早期の膀胱癌の写真です。